



# Cisco VSG および Cisco Prime NSC のアップグレード

この章の内容は、次のとおりです。

- [完全なアップグレード手順, 1 ページ](#)
- [アップグレードの注意事項と制限事項, 2 ページ](#)
- [Cisco VSG Release 5.2\(1\)VSG1\(4.1\) から Release 5.2\(1\)VSG2\(1.1a\)、Cisco VNMC Release 2.1 から Cisco Prime NSC Release 3.2、Cisco Nexus 1000V Release 5.2\(1\)SM1\(5.1\) から Release 5.2\(1\)SM1\(5.2\) へのアップグレード手順, 3 ページ](#)

## 完全なアップグレード手順

表 1: アップグレード前の製品リリースに応じて、各セクションの表を参照してください

アップグレード前のリリース	次のセクションの手順を実行
Cisco VSG リリース 5.2(1)VSG1(4.1) から リリース 5.2(1)VSG2(1.1a) および Cisco VNMC リリース 2.1 から Cisco Prime NSC リリース 3.2	Cisco VSG リリース 5.2(1)VSG1(4.1) から リリース 5.2(1)VSG2(1.1a) および Cisco VNMC 2.1 から Cisco Prime NSC リリース 3.2 へのアップグレード手順。  これには、Cisco Nexus 1000V リリース 5.2(1)SM1(5.1) から リリース 5.2(1)SM1(5.2) へのアップグレード手順も含まれます。

Cisco Prime NSC、Cisco VSG、および Cisco Nexus 1000V をアップグレードするには、次の手順を順番に実行します。

### 1 ステージ 1 : Cisco Prime NSC のアップグレード

- 2 ステージ 2 : Cisco VSG ペアのアップグレード
- 3 ステージ 3 : VSM ペアと VEM のアップグレード



(注) Cisco VSG と Cisco Prime NSC は、指定の順序でアップグレードすることを強くお勧めします。指定の順序に従わなければ、接続とデータ通信に障害が起こるおそれがあります。Cisco Prime NSC は、正しいポリシー エージェント (PA) を使用してアップグレードする必要があります。

## Cisco Prime NSC のアップグレードに関する情報

Cisco Prime NSC ソフトウェアをアップグレードすると、すべての現行の CLI (コマンドラインインターフェイス) および GUI (グラフィカルユーザインターフェイス) セッションは中断されます。そのため、CLI または GUI セッションを再起動する必要があります。

## Cisco VSG アップグレードの情報

スタンドアロンの Cisco VSG のアップグレード手順は hitful なので、新しいイメージを有効にするには Cisco VSG を手動でリロードする必要があります。HA モードではアップグレードは hitless なので、スタンバイの Cisco VSG が先にアップグレードされ、スイッチオーバーの後に、以前にアクティブだった Cisco VSG がアップグレードされます。

ライセンス情報は Cisco VSG に保存されず、仮想スーパーバイザ モジュール (VSM) と仮想イーサネット モジュール (VEM) 間に保持されるため、Cisco VSG でパケットが受理されるとライセンスは有効であることを意味し、パケットが処理されます。

アップグレードにより、2つのバイナリ ファイル (キックスタート ファイルとシステム ファイル) が影響を受けます。

アップグレードを行い、Cisco VSG がオンラインになっても既存の情報は消去されません。Cisco VSG はステートレスなので、すべての情報はブートアップ時に Cisco Prime NSC から取得されます。

## アップグレードの注意事項と制限事項

Cisco Prime NSC、Cisco VSG、および Cisco Nexus 1000V をアップグレードする前に、以下をお読みください。

- Cisco VSG と Cisco Prime NSC は、指定の順序でアップグレードすることを強くお勧めします。指定の順序に従わなければ、接続とデータ通信に障害が起こるおそれがあります。Cisco Prime NSC は、正しいポリシー エージェント (PA) を使用してアップグレードする必要があります。

- VSG ユニバーサルライセンス (UL) を使用して新しい VSG バージョンにアップグレードする前に、VSM モードを拡張モードに変更し、設定を保存したことを確認します。VSM モードを拡張モードに変更しないで UL を使用して VSG をインストールすると、VSG サービスに障害を発生させることがあります。
- アップグレード手順を行う前に、元の Cisco Prime NSC および VSM のスナップショットまたはバックアップ (クローン) を作成してから、VSM および Cisco VSG で ISSU アップグレードを実行することをお勧めします。手動アップグレードはお勧めしません。
- 完全なインサービス ソフトウェア アップグレード (ISSU) を Cisco VSG および VSM で行うには、次のルールに従ってください。
  - Cisco VSG と VSM をインストールする前に、Cisco Prime NSC をインストールしてください。ISSU アップグレードは新しい PA をインストールします。
  - 古い Cisco Prime NSC が搭載されたままの新しい PA はサポートされません。また、暫定的であってもこの状態にしてはなりません。
  - VSM アップグレード後は、copy run start を実行する必要はありません。
- アップグレード手順には、次の情報が含まれます。
  - 異なるステージでサポートされる、完全なアップグレード手順と操作のステージ
  - ステージ終了後のコンポーネントのバージョン
  - ステージ終了後にサポートされる操作

## Cisco VSG Release 5.2(1)VSG1(4.1) から Release 5.2(1)VSG2(1.1a)、Cisco VNMC Release 2.1 から Cisco Prime

## NSC Release 3.2、Cisco Nexus 1000V Release 5.2(1)SM1(5.1) から Release 5.2(1)SM1(5.2) へのアップグレード手順

### Cisco VSG Release 5.2(1)VSG1(4.1) から 5.2(1)VSG2(1.1a)、および Cisco VNMC 2.1 から Cisco Prime NSC 3.0.2、Cisco Prime NSC 3.2 への段階的アップグレード

仮想アプライアンス	元の状態	ステージ 1 : Cisco Prime NSC のアップグレードのみ (PA のアップグレードなし)	ステージ 2 : Cisco VSG のアップグレード	ステージ 3 : VSM/VEM のアップグレード
Cisco Prime NSC	旧 Cisco VNMC 2.1	新 Cisco Prime NSC 3.0.2	新 Cisco Prime NSC 3.0.2	新 Cisco Prime NSC 3.0.2
	新 Cisco Prime NSC 3.0.2	新 Cisco Prime NSC 3.2	新 Cisco Prime NSC 3.2	新 Cisco Prime NSC 3.2
Cisco VSG	旧 5.2(1)VSG1(4.1)	旧 5.2(1)VSG1(4.1)	新 5.2(1)VSG2(1.1a)	新 5.2(1)VSG2(1.1a)
VSG PA	旧 2.0	旧 2.0	新 2.1	新 2.1
VSM	旧 5.2(1)SM1(5.1)	旧 5.2(1)SM1(5.1)	旧 5.2(1)SM1(5.1)	新 5.2(1)SM1(5.2)
VEM	旧 4.2(1)SV1(5.2b)	旧 4.2(1)SV1(5.2b)	旧 4.2(1)SV1(5.2b)	新 4.2(1)SV2(2.1)
VSM PA	旧 2.0	旧 2.0	旧 2.0	新 3.2

仮想アプライアンス	元の状態	ステージ 1 : Cisco Prime NSC のアップグレードのみ (PA のアップグレードなし)	ステージ 2 : Cisco VSG のアップグレード	ステージ 3 : VSM/VEM のアップグレード
各ステージにアップグレード後にサポートされる操作	すべての操作をサポート可	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存のデータセッション (オフロード済み)。</li> <li>• 新規データセッション。</li> <li>• Cisco Nexus 1000V スイッチ (vservice 以外) が操作可 (vservice 以外のポートプロファイルも含む)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco VSG アップグレード時に新しいデータセッションの確立を一時的に中断。</li> <li>• その他の操作は完全にサポート。</li> <li>• レイヤ 3 VSG および VM VLAN を完全にサポート。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VEM を含むすべてのアップグレードが正常に行われた場合には、すべての操作をサポート。</li> <li>• 制限のある操作 (以下を参照) は、すべての VEM がアップグレードされていない場合にのみ該当</li> <li>• VEM のアップグレード時のデータトラフィックの中断。</li> <li>• レイヤ 3 VSG および VM VLAN をサポート。</li> </ul>

Cisco VSG Release 5.2(1)VSG1(4.1) から 5.2(1)VSG2(1.1a)、および Cisco VNMCM 2.1 から Cisco Prime NSC 3.0.2、  
Cisco Prime NSC 3.2 への段階的アップグレード

仮想アプライアンス	元の状態	ステージ 1 : Cisco Prime NSC のアップグレードのみ (PA のアップグレードなし)	ステージ 2 : Cisco VSG のアップグレード	ステージ 3 : VSM/VEM のアップグレード
各ステージにアップグレード後に制限が課される操作	なし			

仮想アプライアンス	元の状態	ステージ 1 : Cisco Prime NSC のアップグレードのみ (PA のアップグレードなし)	ステージ 2 : Cisco VSG のアップグレード	ステージ 3 : VSM/VEM のアップグレード
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Prime NSC ポリシーの構成変更なし (サイレントドロップを想定)。</li> <li>• VSM/VEM vservice VM 操作なし (既存の vservice VM のシャットダウン/起動、ネットワークアダプタの停止など)。</li> <li>• 新しい vservice VM はサポートされません。</li> <li>• N1k でファイアウォールを使用する vservice の vMotion なし。</li> <li>• vservice PP 操作または変更 (VSM の PP のトグル、削除および変更) なし。</li> <li>• VSG フェイルオーバーのサポートなし、VSM フェイルオーバー (vns-agent) のサポートなし (すべての VSM から Cisco Prime NSC、さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Prime NSC ポリシーの構成変更なし (サイレントドロップを想定)。</li> <li>• VSM/VEM vservice VM 操作なし (既存の vservice VM のシャットダウン/起動、ネットワークアダプタの停止など)。</li> <li>• 新しい vservice VM はサポートされません。</li> <li>• N1k でファイアウォールを使用する vservice の vMotion なし。</li> <li>• vservice PP 操作または変更 (VSM の PP のトグル、削除および変更) なし。</li> <li>• VSG フェイルオーバーのサポートなし、VSM フェイルオーバー (vns-agent) のサポートなし (すべての VSM から Cisco Prime NSC、さ</li> </ul>	<p>次に示す制限付き操作は、すべての VEM がアップグレードされていない場合にのみ該当：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Prime NSC ポリシーの構成変更なし (サイレントドロップを想定)。</li> <li>• VSM/VEM vservice VM 操作なし (既存の vservice VM のシャットダウン/起動、ネットワークアダプタの停止など)。</li> <li>• 新しい vservice VM はサポートされません。</li> <li>• デバイス (VSMC、VSM、VSG) のブートストラップなし。</li> <li>• N1k の vservice VM の vMotion なし。</li> <li>• vservice PP 操作または変更 (VSM の PP のトグル、削除および変更) なし。</li> <li>• vservice 以外の</li> </ul>

仮想アプライアンス	元の状態	ステージ 1 : Cisco Prime NSC のアップグレードのみ (PA のアップグレードなし)	ステージ 2 : Cisco VSG のアップグレード	ステージ 3 : VSM/VEM のアップグレード
		らに VSG への制御動作は制限されています)。	らに VSG への制御動作は制限されています)。	PP (VSM+VEM アップグレード済み) を含む N1k スイッチ (vservice以外) 操作なし (すべての VSG から Cisco Prime NSC、さらに VSM 制御操作は制限されています)。



(注) ISSU アップグレードは、新しい PA のインストールがかかわる VSG および VSM ではサポートされません。ただし、どちらについても、Cisco Prime NSC を最初にインストールする必要があります。新しい PA は古い VNMC をサポートしない場合があります。

## Cisco Prime NSC 3.0.2 への VNMC Release 2.1 へのアップグレード

### はじめる前に

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- 新しいソフトウェア ファイルをリモート サーバにバックアップし、そのソフトウェア ファイルがリモート サーバに作成されたことを確認していること。
- Cisco Prime NSC リリース 3.2 がダウンロードされていること。
- VNMC VM に 2 台のハードディスクを追加していること。Cisco Prime NSC の要件の詳細については、[システム要件](#) を参照してください。



## 手順の概要

1. nsc# **connect local-mgmt**
2. (任意) nsc (local-mgmt)# **show version**
3. (任意) nsc (local-mgmt)# **copy scp://user@example-server-ip/example-dir/filename bootflash:/**
4. nsc (local-mgmt)# **dir bootflash:/**
5. nsc (local-mgmt)# **update bootflash:/filename**
6. (任意) nsc (local-mgmt)# **service status**
7. (任意) nsc (local-mgmt)# **show version**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	nsc# <b>connect local-mgmt</b>	ローカル管理モードを開始します。
ステップ 2	nsc (local-mgmt)# <b>show version</b>	(任意) Cisco Prime NSC ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
ステップ 3	nsc (local-mgmt)# <b>copy scp://user@example-server-ip/example-dir/filename bootflash:/</b>	(任意) Cisco Prime NSC ソフトウェア ファイルを VM にコピーします。
ステップ 4	nsc (local-mgmt)# <b>dir bootflash:/</b>	目的のファイルがディレクトリにコピーされたことを確認します。
ステップ 5	nsc (local-mgmt)# <b>update bootflash:/filename</b>	Cisco Prime NSC ソフトウェアの更新を開始します。
ステップ 6	nsc (local-mgmt)# <b>service status</b>	(任意) サーバが予期したとおりに動作していることを確認できます。
ステップ 7	nsc (local-mgmt)# <b>show version</b>	(任意) Cisco Prime NSC ソフトウェア バージョンが更新されていることを確認できます。  (注) Cisco Prime NSC リリース 3.0.2 にアップグレードしても、ブラウザには Cisco VNM の前のバージョンが表示される場合があります。アップグレード後のバージョンを表示するには、ブラウザでブラウザ キャッシュとブラウジング履歴をクリアします。この注は、サポートされているすべてのブラウザ、Internet Explorer、Mozilla Firefox、および Chrome に適用されます。

コマンドまたはアクション	目的
--------------	----

### 設定例

次の例は、ローカル管理モードに接続する方法を示しています。

```
nsc# connect local-mgmt
Cisco Prime Network Services Controller
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2013, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

次の例は、Cisco VVMC: のバージョン情報を表示する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# show version

Name                Package                Version                GUI
----                -
core                Base System            2.1                    2.1
service-reg        Service Registry      2.1                    2.1
policy-mgr         Policy Manager         2.1                    2.1
resource-mgr       Resource Manager       2.1                    2.1
vm-mgr             VM manager             2.1                    none
```

次の例は、Cisco Prime NSC ソフトウェアを VM にコピーする方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# copy scp://<user@example-server-ip>/example1-dir/nsc.3.0.2e.bin bootflash:/
Enter password:
100% 143MB 11.9MB/s 00:12
```

次の例は、Cisco Prime NSC のディレクトリ情報を表示する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# dir bootflash:/

 1.1G Oct 14 00:57 nsc.3.0.2e.bin

Usage for bootflash://

      6359716 KB used
     10889320 KB free
     18187836 KB total
```

次の例は、Cisco Prime NSC の更新を開始する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# update bootflash:/nsc.3.0.2e.bin
It is recommended that you perform a full-state backup before updating any VVMC component.
Press enter to continue or Ctrl-c to exit.
```

次の例は、Cisco Prime NSC の更新後のバージョンを表示する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# show version

Name                Package                Version                GUI
----                -
core                Base System            3.0(2e)                3.0(2e)
service-reg        Service Registry      3.0(2e)                3.0(2e)
policy-mgr         Policy Manager         3.0(2e)                3.0(2e)
resource-mgr       Resource Manager       3.0(2e)                3.0(2e)
vm-mgr             VM manager             3.0(2e)                none
cloudprovider-mgr  Cloud Provider Mgr    3.0(2e)                none
```

## Cisco Prime NSC 3.2 への Cisco Prime NSC 3.0.2 のアップグレード

### はじめる前に

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- 新しいソフトウェア ファイルをリモート サーバにバックアップし、そのソフトウェア ファイルがリモート サーバに作成されたことを確認していること。
- Cisco Prime NSC リリース 3.2 をダウンロードしていること。
- 2 台のハードディスクを Cisco Prime NSC VM に追加していること。Cisco Prime NSC の要件の詳細については、[システム要件](#) を参照してください。

### 手順の概要

1. nsc# **connect local-mgmt**
2. (任意) nsc (local-mgmt)# **show version**
3. (任意) nsc (local-mgmt)# **copy scp://user@example-server-ip/example-dir/filename bootflash:/**
4. nsc (local-mgmt)# **dir bootflash:/**
5. nsc (local-mgmt)# **update bootflash:/filename**
6. (任意) nsc (local-mgmt)# **service status**
7. (任意) nsc (local-mgmt)# **show version**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	nsc# <b>connect local-mgmt</b>	ローカル管理モードを開始します。
ステップ 2	nsc (local-mgmt)# <b>show version</b>	(任意) Cisco Prime NSC ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
ステップ 3	nsc (local-mgmt)# <b>copy scp://user@example-server-ip/example-dir/filename bootflash:/</b>	(任意) Cisco Prime NSC ソフトウェア ファイルを VM にコピーします。
ステップ 4	nsc (local-mgmt)# <b>dir bootflash:/</b>	目的のファイルがディレクトリにコピーされたことを確認します。
ステップ 5	nsc (local-mgmt)# <b>update bootflash:/filename</b>	Cisco Prime NSC ソフトウェアの更新を開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	nsc (local-mgmt)# <b>service status</b>	(任意) サーバが予期したとおりに動作していることを確認できます。
ステップ 7	nsc (local-mgmt)# <b>show version</b>	(任意) Cisco Prime NSC ソフトウェアバージョンが更新されていることを確認できます。  (注) Cisco Prime NSC リリース 3.2 にアップグレードしても、ブラウザには Cisco Prime NSC の前のバージョンが表示される場合があります。アップグレード後のバージョンを表示するには、ブラウザでブラウザ キャッシュとブラウジング履歴をクリアします。この注は、サポートされているすべてのブラウザ、Internet Explorer、Mozilla Firefox、および Chrome に適用されます。

## 設定例

次の例は、ローカル管理モードに接続する方法を示しています。

```
nsc# connect local-mgmt
Cisco Prime Network Services Controller
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2013, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

次の例は、Cisco Prime NSC のバージョン情報を表示する方法を示しています。

```
nsc (local-mgmt) # show version
```

Name	Package	Version	GUI
core	Base System	3.0(2e)	3.0(2e)
service-reg	Service Registry	3.0(2e)	3.0(2e)
policy-mgr	Policy Manager	3.0(2e)	3.0(2e)
resource-mgr	Resource Manager	3.0(2e)	3.0(2e)
vm-mgr	VM manager	3.0(2e)	none
cloudprovider-mgr	Cloud Provider Mgr	3.0(2e)	none

次の例は、Cisco Prime NSC ソフトウェアを VM にコピーする方法を示しています。

```
nsc (local-mgmt) # copy scp://<user@example-server-ip>/example1-dir/nsc.3.2.bin bootflash:/
Enter password:
100% 143MB 11.9MB/s 00:12
```

次の例は、Cisco Prime NSC のディレクトリ情報を表示する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# dir bootflash:/
1.1G Oct 14 00:57 nsc.3.2.bin

Usage for bootflash://
6359716 KB used
10889320 KB free
18187836 KB total
```

次の例は、Cisco Prime NSC の更新を開始する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# update bootflash:/nsc.3.2.bin
It is recommended that you perform a full-state backup before updating any VNMC component.
Press enter to continue or Ctrl-c to exit.
```

次の例は、Cisco Prime NSC の更新後のバージョンを表示する方法を示しています。

```
nsc(local-mgmt)# show version
```

Name	Package	Version	GUI
core	Base System	3.2	3.2
service-reg	Service Registry	3.2	3.2
policy-mgr	Policy Manager	3.2	3.2
resource-mgr	Resource Manager	3.2	3.2
vm-mgr	VM manager	3.2	none
cloudprovider-mgr	Cloud Provider Mgr	3.2	none

## Cisco VSG Release 5.2(1)VSG1(4.1) から 5.2(1)VSG2(1.1a) へのアップグレード

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [Cisco VSG ソフトウェア アップグレードの注意事項](#), (13 ページ)
- [HA モードでの VSG ペアのアップグレード](#), (14 ページ)
- [スタンドアロン VSG のデバイスのアップグレード](#), (18 ページ)
- [アップグレードされた VSG へのポリシー エージェントの再登録](#), (21 ページ)

### はじめる前に

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- Cisco VSG ソフトウェアをアップグレードする前に、アクティブなすべての VSG コンフィギュレーションセッションを閉じていること。
- キックスタートおよびシステム イメージをリモート サーバから Cisco Nexus 1000V にコピーしていること。

## Cisco VSG ソフトウェア アップグレードの注意事項

VSG をアップグレードする際は、VSG のアップグレードの注意事項に従ってください。

- ネットワークが安定しているときに、アップグレードをスケジュールします。アップグレード中はスイッチの設定を行わないでください。
- アップグレードイメージのコピーに利用できる十分な容量を確保してください。アクティブ VSG とスタンバイ VSG の両方に、最小 200 MB のブートフラッシュの空き領域が必要です。
- インストール手順の実行中に VSG を稼働しているホストへの電力供給が中断されることがないようにします。
- VSG の管理 (mgmt0) インターフェイスが動作しており、アクセス可能であることを確認します。
- 指定したシステム イメージとキックスタート イメージに互いに互換性があることを確認します。
- ping コマンドを使用して、リモート サーバへの接続を確認します。

## HA モードでの VSG ペアのアップグレード

ハイ アベイラビリティ (HA) モードで VSG ペアをアップグレードできます。

### 手順の概要

1. アクティブ VSG にログインします。
2. 現在のブート変数を表示します。
3. イメージ ファイルをコピーするのに十分な空き容量があるかを確認します。新しい VSG イメージをコピーするために十分な空き容量を増やす必要がある場合は、不要なファイルを削除します。
4. スタンバイ VSG に利用可能な必要容量があることを確認します。新しい VSG イメージをコピーするために十分な空き容量を増やす必要がある場合は、不要なファイルを削除します。
5. Cisco Nexus 1000V キックスタート ファイル、およびシステム ソフトウェア ファイルをサーバにコピーします。
6. 現在のブート変数を削除します。
7. 現在のブート変数を表示します。
8. 新しいブート変数をロードし、実行中のコンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
9. 現在のブート変数を表示します。
10. 手動でシステムを再起動します。
11. インストール処理が完了したらログインし、スイッチがアップグレードされたソフトウェア バージョンを実行していることを確認します。

## 手順の詳細

**ステップ 1** アクティブ VSG にログインします。

**ステップ 2** 現在のブート変数を表示します。

```
vsg# show boot
Current Boot Variables:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set

Boot Variables on next reload:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set
```

**ステップ 3** イメージ ファイルをコピーするのに十分な空き容量があるかを確認します。新しい VSG イメージをコピーするために十分な空き容量を増やす必要がある場合は、不要なファイルを削除します。

```
vsg(config)# dir
.
.
.
Usage for bootflash://
 692117504 bytes used
 5711851520 bytes free
 6403969024 bytes total
```

**ステップ 4** スタンバイ VSG に利用可能な必要容量があることを確認します。新しい VSG イメージをコピーするために十分な空き容量を増やす必要がある場合は、不要なファイルを削除します。

```
vsg(config)# dir bootflash://sup-standby/
.
.
.
Usage for bootflash://sup-standby
 577372160 bytes used
 5826600960 bytes free
 6403973120 bytes total
```

**ステップ 5** Cisco Nexus 1000V キックスタート ファイル、およびシステム ソフトウェア ファイルをサーバにコピーします。

```
vsg(config)# copy scp://user@scpserver.cisco.com/downloads/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
./
vsg(config)#copy scp://user@scpserver.cisco.com/downloads/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin ./
```

**ステップ 6** 現在のブート変数を削除します。

```
vsg(config)# no boot system
vsg(config)# no boot kickstart
```

**ステップ 7** 現在のブート変数を表示します。

```
vsg(config)# show boot
Current Boot Variables:
sup-1
kickstart variable not set
system variable not set
sup-2
kickstart variable not set
system variable not set
No module boot variable set

Boot Variables on next reload:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set
```

**ステップ 8** 新しいブート変数をロードし、実行中のコンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
vsg# configure terminal
vsg(config)# boot system bootflash:///nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
vsg(config)# boot kickstart bootflash:///nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
vsg(config)# copy running-config startup-config
```

**ステップ 9** 現在のブート変数を表示します。

```
vsg(config)# show boot
Current Boot Variables:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
No module boot variable set

Boot Variables on next reload:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
No module boot variable set
```



**ステップ 10** 手動でシステムを再起動します。

```
vsg(config)# reload
This command will reboot the system. (y/n)? [n]
```

If you want to continue with the reboot, press Y.

(注) システムの再起動には約 10 秒かかります。

**ステップ 11** インストール処理が完了したらログインし、スイッチがアップグレードされたソフトウェアバージョンを実行していることを確認します。

```
switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Documents: http://www.cisco.com/en/US/products/ps9372/tsd_products_support_series_home.html
Copyright (c) 2002-2013, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.
```

## Software

```
loader:    version unavailable [last: image booted through mgmt0]
kickstart: version 5.2(1)VSG2(1.1a)
system:    version 5.2(1)VSG2(1.1a)
system image file is:  bootflash:///nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system compile time:   12/6/2013 16:00:00 [12/06/2013 21:10:51]
```

## Hardware

```
cisco Nexus 1000V Chassis ("Virtual Supervisor Module")
Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2609 with 1933768 kB of memory.
Processor Board ID T155D4BC001
```

```
Device name: VSG_Fire
bootflash:   1451180 kB
```

```
Kernel uptime is 1 day(s), 16 hour(s), 30 minute(s), 38 second(s)
```

## plugin

```
Core Plugin, Ethernet Plugin, Virtualization Plugin
vsg #
```

## スタンドアロン VSG のデバイスのアップグレード

### 手順の概要

1. アクティブ VSG にログインします。
2. `show boot` コマンドを使用して、現在のブート変数を表示します。
3. イメージファイルをコピーするのに十分な空き容量があるかを確認します。新しい VSG イメージをコピーするために十分な空き容量を増やす必要がある場合は、不要なファイルを削除します。
4. Cisco Nexus 1000V キックスタートファイル、およびシステムソフトウェアファイルをサーバにコピーします。
5. 現在のブート変数を削除します。
6. 現在のブート変数を表示します。
7. 新しいブート変数をロードし、実行中のコンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。
8. 現在のブート変数を表示します。
9. 手動でシステムを再起動します。
10. インストール処理が完了したらログインし、スイッチがアップグレードされたソフトウェアバージョンを実行していることを確認します。

### 手順の詳細

**ステップ 1** アクティブ VSG にログインします。

**ステップ 2** `show boot` コマンドを使用して、現在のブート変数を表示します。

```
vsg# show boot
Current Boot Variables:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set

Boot Variables on next reload:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set
```

- ステップ 3** イメージファイルをコピーするのに十分な空き容量があるかを確認します。新しい VSG イメージをコピーするために十分な空き容量を増やす必要がある場合は、不要なファイルを削除します。

```
vsg(config)# dir
.
.
.
Usage for bootflash://
 692117504 bytes used
 5711851520 bytes free
 6403969024 bytes total
```

- ステップ 4** Cisco Nexus 1000V キックスタートファイル、およびシステム ソフトウェア ファイルをサーバにコピーします。

```
vsg(config)# copy scp://user@scpserver.cisco.com/downloads/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
./
```

- ステップ 5** 現在のブート変数を削除します。

```
vsg(config)# no boot system
vsg(config)# no boot kickstart
```

- ステップ 6** 現在のブート変数を表示します。

```
vsg(config)# show boot
Current Boot Variables:
sup-1
kickstart variable not set
system variable not set
sup-2
kickstart variable not set
system variable not set
No module boot variable set

Boot Variables on next reload:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set
```

- ステップ 7** 新しいブート変数をロードし、実行中のコンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
vsg# configure terminal
vsg(config)# boot system bootflash:///nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
vsg(config)# boot kickstart bootflash:///nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
vsg(config)# copy running-config startup-config
```

- ステップ 8** 現在のブート変数を表示します。

```
vsg(config)# show boot
Current Boot Variables:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
sup-2
```

```
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
No module boot variable set
```

Boot Variables on next reload:

```
sup-1
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/nexus-1000v-kickstart.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
system variable = bootflash:/nexus-1000v.5.2.1.VSG1.4.0.1.bin
No module boot variable set
```

### ステップ 9 手動でシステムを再起動します。

```
vsg(config)# reload
This command will reboot the system. (y/n)? [n]
```

If you want to continue with the reboot, press Y.

(注) システムの再起動には約 10 秒かかります。

### ステップ 10 インストール処理が完了したらログインし、スイッチがアップグレードされたソフトウェアバージョンを実行していることを確認します。

```
switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Documents: http://www.cisco.com/en/US/products/ps9372/tsd_products_support_series_home.html
Copyright (c) 2002-2013, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.
```

Software

```
loader:    version unavailable [last: image booted through mgmt0]
kickstart: version 5.2(1)VSG2(1.1a)
system:    version 5.2(1)VSG2(1.1a)
system image file is:  bootflash:///nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.bin
system compile time:    12/6/2013 16:00:00 [12/06/2013 21:10:51]
```

Hardware

```
cisco Nexus 1000V Chassis ("Virtual Supervisor Module")
Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2609 with 1933768 kB of memory.
Processor Board ID T155D4BC001
```

```
Device name: VSG_Fire
bootflash:    1451180 kB
```

Kernel uptime is 1 day(s), 16 hour(s), 30 minute(s), 38 second(s)

plugin

Core Plugin, Ethernet Plugin, Virtualization Plugin  
vsg #

## アップグレードされた VSG へのポリシー エージェントの再登録

Cisco VSG をアップグレードした後に、ポリシー エージェントを再登録する必要があります。

### 手順の概要

1. アクティブ VSG にログインします。
2. 現在のポリシー エージェントのバージョンを確認します。
3. コンフィギュレーション モードを開始します。
4. VSG から古いポリシー エージェントの登録を解除します。
5. VSG を使用して、新しいポリシー エージェントを登録します。
6. 現在の実行中のコンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。
7. 更新されたポリシー エージェントのバージョンを確認します。

### 手順の詳細

**ステップ 1** アクティブ VSG にログインします。

**ステップ 2** 現在のポリシー エージェントのバージョンを確認します。

```
vsg# show nsc-pa status
NSC Policy-Agent status is - Installed Successfully. Version 2.1(1a)-vsg
VSG#
```

**ステップ 3** コンフィギュレーション モードを開始します。

```
vsg# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
VSG(config)#
```

**ステップ 4** VSG から古いポリシー エージェントの登録を解除します。

```
VSG(config)# nsc-policy-agent
VSG(config-nsc-policy-agent)# no policy-agent-image
```

**ステップ 5** VSG を使用して、新しいポリシー エージェントを登録します。

```
VSG(config-nsc-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsgpa.2.1.1e.bin
VSG(config-nsc-policy-agent)# exit
VSG(config)#
```

**ステップ 6** 現在の実行中のコンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

```
VSG(config)# copy running startup
[#####] 100%
```

**ステップ7** 更新されたポリシー エージェントのバージョンを確認します。

```
VSG(config)# show nsc-pa status
NSC Policy-Agent status is - Installed Successfully. Version 2.1(1e)-vsg
VSG(config)#
```

---

## Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V のアップグレード

### Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V のアップグレード

Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V のアップグレードには、次が含まれます。

- VSM のアップグレード
- Cisco VSEM のアップグレード
- VEM ソフトウェアのアップグレード

Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V のアップグレードの詳細については、[http://www.cisco.com/en/US/partner/products/ps13056/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/partner/products/ps13056/prod_installation_guides_list.html)にある『Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V Installation and Upgrade Guide (Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V インストールおよびアップグレードガイド)』の「Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V のアップグレード」の章を参照してください。